

腎臓リウマチ膠原病内科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	当院での臨床工学技士の腹膜透析遠隔モニタリング管理、関わりについて
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	（所属）内科学講座(腎臓・リウマチ膠原病内科) （職名）教授 （氏名）石本 卓嗣
研究の対象となる方	2023年6月から2024年6月までに自動腹膜透析治療を行っている患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2025年4月末日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 臨床工学技士の腹膜透析への参入の影響を①参入前後の機械のアラーム数の推移調査 ②アラームの種類の実行を行い、解析検討することを目的としています。 〔利用方法〕 収集した遠隔モニタリングの治療時間などの治療情報が機器本体の不具合が原因なのか、患者さんの行動によるものなのかを分析し、臨床工学技士参入前後のそれぞれのアラーム数推移を比較検討します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往症、モニタリングのアラーム数等を収集します。
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年12月

は提供を希望しない 場合	までに愛知医科大学病院(0561-62-3311)腎センターにより下記問い合わせ 先まで申し出てください。
外国への試料・情報 の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 臨床工学部 担当者：(職名) 臨床工学技士 (氏名) 西岡 克記 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 37332)